

近代産業社会 = 男性中心労働社会

のたそがれを前に
～男性学・男性性研究の視点から～

2018年

入場無料

10月27日[土]

13:30～16:00

- 13:00～ ▶ 受付
- 13:30 ▶ あいさつ
- 13:40～15:10 ▶ 講演
- 15:10～15:30 ▶ 休憩
- 15:30～16:00 ▶ 質疑応答

近代産業社会（工業社会）の成立とともに固定化された近代的なジェンダー構造（男性＝「生産」労働・「公的」領域の担い手・有償労働、女性＝「再生産」労働・「私的」領域の担い手・無償労働）が崩れ始めたのは、1970年前後のことだと考えられる。この変容は、働き方、人口の移動、家族の形、さらにジェンダー構造に根本的な変化を生み出した。近代産業社会の担い手であった「男性」原理（生産性と効率の重視・利益重視の原理）は、この時期、根本的に揺るぎ始めた。「男性性」というジェンダーの視点から、過去をふりかえり、現在を直視し、未来を構想してみたいと思います。

講師

伊藤 公雄さん

京都産業大学教授
京都大学名誉教授
大阪大学名誉教授



会場

サイプレスガーデンホテル 2F
中宴会場 (名古屋市熱田区金山町一丁目9番8号)

定員

80名 (先着順、席に余裕があれば当日も参加できます)

主催

公益財団法人 東海ジェンダー研究所

申込方法

本状裏面(コピー可)又はホームページの申込書に、住所・氏名・連絡先をご記入の上FAX又は郵送(E-mailも可)で東海ジェンダー研究所あてお申し込みください。お申し込み後、定員内の場合は特にご連絡は差し上げませんので、当日、直接会場へお越しください。



講師紹介

伊藤 公雄 (いとう きみお)

京都大学大学院博士課程学修退学、大阪大学、京都大学などを経て、2017年より京都産業大学教授、京都大学名誉教授・大阪大学名誉教授。専門は、文化社会学、メディア研究、ジェンダー論。

内閣府男女共同参画会議専門調査会委員、同男女共同参画の将来像検討会座長代理、日本ジェンダー学会会長などを歴任。

現在、日本学術会議会員、独立行政法人国立女性教育会館監事、京都府・大阪府・滋賀県の男女共同参画審議会会長、京都産業大学ダイバーシティ推進室長などをつとめる。

主な著書に、『「男らしさ」のゆくえー男性文化の文化社会学』（新曜社、1993）、『男性学入門』（作品社、1996）、『「男女共同参画」が問いかけるもの』（インパクト出版会、2003）、『ジェンダーの社会学』（放送大学教育振興会、2008）など。

また主な共著書に『女性学・男性学ージェンダー論入門』（有斐閣、2002）、『新編日本のフェミニズム全12巻』（天野正子他と共編、岩波書店、2009～2011）、などがある。

 (公財)東海ジェンダー研究所 (FAX 052-324-6592)あて

2018年度 講演会 (10/27)

参加申込書

ふりがな

氏名

当研究所の賛助会員の方は✓をしてください

〒

住所

連絡先 TEL

FAX

E-mail

所属 (差し支えなければご記入ください。)

*参加申込書の個人情報は、今回の講演会のお申し込み確認や当日の受付、当研究所からのご案内以外には使用いたしませんのでご了承ください。